『一本桜と残雪の岩手山』（撮影場所：滝沢市巣子地内）
撮影者：滝沢市在住　畠山　昇 氏

消防岩手

定価　1部60円

－発行所－
（公財）岩手県消防協会
郵便番号　020-0021
盛岡市中央通3丁目
7番22号
電話　019（654）3991
FAX　019（654）3992
E-mail：isk@iwate-shokyo.jp
https://iwate-shokyo.jp/

印刷所
盛岡市本町通2丁目
河北印刷株式会社

「平成三十年度全国統一防火標語」
忘れてない？　サイフにスマホに　火の確認

（この機関紙は、日本消防協会よりの援助により発行しているものです）

年頭の挨拶

岩手県知事　達　増　拓　也

平成三十一年の新春を迎え、公益財団法人岩手県消防協会の会員の皆様に年頭の御挨拶を申し上げます。

貴協会、消防職員及び消防団員の皆様におかれましては、日頃から、地域の安心・安全の確保のために多大な御貢献をいただいており、心から敬意を表しますとともに感謝を申し上げます。

近年、全国的に自然災害が続いており、昨年は、六月の大阪北部地震や七月の西日本豪雨、そして、九月の北海道胆振東部地震など、例年にも増して多くの地域が被害に見舞われました。

本県におきましても、尊い人命が失われる住家火災が続くとともに、強風・乾燥に伴う林野火災も相次いで発生しました。

こうした自然災害や火災において、地元の消防職員、消防団員の皆様が懸命な活動をされているところであり、安全で安心して暮らせる社会の実現を願う県民の、消防に寄せる期待は一層大きいものとなっております。

岩手県では、今年度、第三期復興実施計画により、「安全の確保」、「暮らしの再建」、「なりわいの再生」の三つの原則に基づき、復興の先を見据えた地域振興に取り組んでまいりました。そして、これらの取組と並行し、平成三十一年度からの十年間を計画期間とする次期総合計画の策定を進めております。この計画では、東日本大震災津波の経験に基づき、引き続き復興に取り組みながら、お互いに幸福を守り育てることで、県民一人ひとりが希望を持つことのできる「希望郷いわて」を目指してまいります。

また、今年九月から十月には、いよいよ、ラグビーワールドカップ２０１９TM日本大会が釜石市で開催されるほか、三陸地域全体を会場に広域的・総合的な防災復興行事である「三陸防災復興プロジェクト２０１９」が開催されます。東日本大震災津波の際に世界中からいただいた支援への感謝の思いと復興の姿を国内外に発信する絶好の機会であると捉えておりますので、皆様には、これらの成功へ向けて、一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新年が災害のない希望に満ちた一年となりますこと、また、公益財団法人岩手県消防協会のますますの御発展と会員の皆様の御健勝、御多幸を御祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。

新年のご挨拶

（公財）岩手県消防協会
会長
大森忠雄

平成31年の輝かしい新春を迎え、消防関係者の皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

消防職員、消防団員の皆様方には、常日頃から、地域住民の生命・身体・財産の保全のため、火災を始めあらゆる災害に対し、昼夜を分かたず、献身的に職務にご精励されておりますことに対し、心から敬意と感謝を申し上げます。

今日、消防の任務及び活動は、火災予防、警防、救急救助をはじめ、地震や風水害などの自然災害への対応等広範囲にわたり、様々な場面で地域住民の安全・安心の確保に大きな役割を果たしているところであります。

しかしながら、一向に減ることのない火災や自然災害に対し、地域住民の防災への意識が高まってきており、消防への期待もますます大きなものとなっております。

あの未曽有の大震災からもうすぐ八年を迎えますが、その間も、本県はじめ全国各地で大規模自然災害が頻発しており、甚大な被害をもたらしております。

このような状況の中、地域における防災活動の担い手の確保が困難となっていることを鑑み、平成二十五年十二月に「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が制定され、消防団員の確保や確保のための国や地方公共団体等の責務を明確にすることにより、地域防災力の充実強化を図り、住民の安全の確保に資することを目的とした法律であり、改めて、地域防災力の充実強化をより一層推進していかなければならないと考えております。

当協会といたしましても、消防職員、消防団員の福利厚生事業の充実を図りつつ、消防の持つ使命の重要性を深く認識し、県民の安全・安心の確保のため、今後とも各種事業を積極的に推進して参る所存でございます。

どうか皆様におかれましても、心新たに安全な地域づくりのため、なお一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、今年一年が、災害のない平穏で素晴らしい年でありますようご祈念申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

新春ごあいさつ

（公財）日本消防協会
会長
秋本敏文

明けましておめでとうございます。岩手県消防の皆様には、地域の安全のため日夜ご尽力頂いておりまして、本当にありがとうございます。深く感謝申しあげます。

新年のごあいさつとしては、今年が無事平穏なよい年でありますようにと申しあげるのが普通なのですが、このところの災害の状況を見ておりますと、今年も油断できないなという気持の方が強くなってしまいます。

最近の災害は、数が多いだけでなく、様子が変わっているように思われてなりません。台風といえば、以前は九州上陸が通常パターンでしたが、最近は迷い子の台風があったり、北海道東北上陸があったりします。局地的な集中豪雨も多く、これまでですと記録的大雨とよばれた大雨がもう並の大雨と感じられるようにさえなってしまいました。岩手県におかれましても平成二十八年には台風十号により、甚大な被害が発生しました。私は、これまでも「全国、いつでも、どこでも、何でもある位に思っていなければならない」と申しあげていたのですが、その実感がますます強くなったように思われます。

そのように環境が大きく変化するなかで、消防はこれに対応しながら使命を果たしていかなければなりません。日本消防協会では、昨年三月、自治体制度七十周年を契機として、「変化への対応」を中心テーマとするシンポジウムを開催し、標記のタイトルの意見を公けにしました。その内容は多岐にわたっていますが、今年も私たちはその実現をめざして多方面の努力を重ねてまいります。

全国的な、広域的な取組みが必要なことも勿論ありますが、私は、「防災の原点は地域」ということを思いながら、平成二十五年制定の「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」の趣旨をいかして、地域の皆さんの総力結集のもと、地域のさまざまな状況に応じつつ、その地域にとって必要な情報の収集、的確な判断、そして迅速な行動を実行するようにしなければならないと思われます。

新日本消防会館の建設を進めていますが、新会館は文字通り日本消防の総合的な中核拠点であり、また市町村自治の一層の発展に寄与できるものにしなければならないと考えております。

いろいろ申しあげましたが、やはり、今年が無事平穏なよい年でありますよう心からお祈り申しあげ、岩手県消防の皆様のご健勝ご多幸をお祈り申しあげて新年のごあいさつとさせて頂きます。

年頭の辞

総務省消防庁
長官
黒　田　武一郎

平成三十一年の新春を迎えるに当たり、全国の消防関係者の皆様に謹んで年頭の御挨拶を申し上げます。皆様方には、平素から消防防災活動や消防関係団体業務などに御尽力いただいており、心から敬意を表し、深く感謝申し上げます。

昨年も、地震や集中豪雨による自然災害が多発し、警戒活動中の消防団員の方をはじめ、多くの方々が犠牲になりました。

また、群馬県で発生した消防防災ヘリコプター墜落事故により、九名の方々の尊い命が失われたことは痛恨の極みであります。

お亡くなりになった方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

平成を振り返ってみますと、平成七年の阪神・淡路大震災を受けた災害対策法制の見直し、平成十五年の緊急消防援助隊の法律上の位置付け、平成二十三年の東日本大震災を受けた相互応援の強化や住民の円滑かつ安全な避難の確保など、我が国の消防防災行政は、回避できない自然災害から被害を最小限にできるよう、減災への不断の努力を続けてまいりました。

尊い犠牲となりました先人のご遺志にこたえるためにも、今後発生が危惧される南海トラフ地震や首都直下地震等の大規模災害に備え、緊急消防援助隊や地域防災力の中核となる消防団及び自主防災組織の更なる充実強化、火災予防対策の推進など、一層の推進に取り組んでまいります。

あわせて、新しい年を迎えて始まるG20大阪サミットや2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会などの大規模イベント開催時における安心・安全対策に取り組み、引き続き万全な消防・救急体制を整えてまいります。

皆様方におかれましては、我が国の消防防災・危機管理体制の更なる発展と、国民が安心して暮らせる安全な地域づくりのために、より一層の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様の益々の御健勝と御発展を祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。

年頭の御挨拶

岩手県消防長会
会長
髙　橋　邦　夫

平成三十一年の輝かしい新春を迎え、県内の消防関係者の皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。

皆様方には、火災をはじめとする各種災害から地域住民の安全・安心を確保するため、昼夜を問わず献身的に御尽力されておりますことに対しまして、衷心より敬意を表しますとともに、深く感謝を申し上げます。

さて、昨年は、二月に札幌市で発生した下宿火災、七月に多摩市で発生した工事中の建物火災、さらには、十二月に札幌市で発生したスプレー缶爆発火災のほか、西日本を中心に広い範囲で発生した七月豪雨や台風による災害、大阪府北部や北海道胆振東部で発生した地震災害など、全国各地で住民の生活を脅かす大きな災害が発生し、安全・安心に対する住民の関心が高まるなか、我々消防に寄せられる期待は、ますます大きくなっております。

また、最近の消防を取り巻く環境は、首都直下型地震や南海トラフ巨大地震などの大規模災害を見据えた緊急消防援助隊の充実強化や地域防災力の中核となる消防団及び自主防災組織等の充実強化、防火対象物及び危険物施設の火災予防対策、また、消防防災分野における女性消防職・団員の更なる活躍推進、消防団への大学生等の更なる加入促進など、様々な対応を求められている状況であります。

私達消防に携わる者といたしましては、日頃から地域に密着し、火災や大規模な自然災害が発生した際に大きな役割を果たす消防団員の確保をはじめ、これまで以上に迅速かつ的確な災害対応を可能とする広域的な応援体制の整備のほか、本年九月に釜石鵜住居復興スタジアムで開催されるラグビーワールドカップ2019でのテロ災害への備えなど、あらゆる災害に即応できる消防防災体制の充実を図り、地域住民の信頼と負託に応える必要があります。

皆様方におかれましては、県民が安心して安全に暮らせる災害のない街づくりのため、引き続き御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、公益財団法人岩手県消防協会の益々の御発展と皆様方の御健勝と御多幸、そして、本年が災害のない平穏無事な一年となりますことを心から祈念申し上げまして、年頭の御挨拶といたします。

秋の叙勲受章者伝達式

（消防関係）

平成三十年秋の叙勲伝達式が十一月十二日（月）東京都港区にある日本消防会館内の「ニッショーホール」で、関係者が出席して盛大に挙行されました。

本県からは受章者二十四名の内十名の方々がご夫人を伴い出席されました。

今回受章された方々は、生業をもちながら永年にわたり、消防団活動を通じて地域住民の生命、身体、財産を火災や災害から守ったことが高く評価されて受章されたものであり、心からお祝い申し上げます。

今後とも健康に留意されまして安全で安心できる地域社会の実現のためにご尽力されますようご祈念いたします。

瑞宝双光章

藤澤　良悦氏（元盛岡市消防団団長）

瑞宝単光章

荒屋喜久雄氏（元玉山村消防団分団長）
石川　勝弘氏（元水沢市消防団分団長）
岩渕　善二氏（元平泉町消防団分団長）
小野寺壽紀氏（元藤沢町消防団分団長）
金今　忠一氏（元川崎村消防団分団長）
兼田　博氏（元軽米町消防団分団長）
菅野　辰己氏（元一関市消防団副団長）
菊池　清司氏（元大東町消防団分団長）
菊池　春喜氏（元遠野市消防団分団長）
小田島良幸氏（元北上市消防団分団長）
佐々木　保氏（元宮古市消防団分団長）
佐々木雄二氏（元軽米町消防団副団長）
佐藤　永男氏（元水沢市消防団団長）
佐藤　幸夫氏（元花巻市消防団副団長）
髙橋　孝氏（元胆沢町消防団分団長）
田上　常吉氏（元盛岡市消防団分団長）
千葉　克成氏（元東山町消防団分団長）
千葉　章司氏（元花泉町消防団分団長）
中村　義明氏（元九戸村消防団副団長）
藤代　勝司氏（元一関市消防団分団長）
藤原　邦彦氏（元一関市消防団副団長）
前川　好範氏（元宮古市消防団分団長）
皆川　勝男氏（元藤沢町消防団分団長）

危険業務従事者叙勲伝達式

危険性の高い業務に従事した人を対象にした第三十一回危険業務従事者の叙勲伝達式が、十一月七日（水）総務省講堂において関係者が出席して挙行されました。

本県からは受章者六名が出席されました。

栄えある受章おめでとうございます。

瑞宝双光章

菊地　淳寛氏（元一関市消防司令長）
田村　利明氏（元二戸地区広域行政事務組合消防監）

瑞宝単光章

石川　修氏（元胆江地区消防組合消防司令）
下河原紀夫氏（元盛岡地区広域行政事務組合消防司令補）
多田　堅悦氏（元遠野市消防司令）
千葉　利英氏（元一関市消防司令長）
矢澤　滋夫氏（元盛岡地区広域消防組合消防司令長）

第24回 全国女性消防団員活性化滋賀大会

第二十四回全国女性消防団員活性化滋賀大会が、去る十一月九日（金）午前十時から、大津市の「ウカルちゃんアリーナ（滋賀県立体育館）」において、総務省消防庁・日本消防協会・滋賀県消防協会の主催により開催されました。

大会には、当県から十六名の女性消防団員等が参加し、全国から三千名を超える女性消防団員並びに消防関係者が出席し盛大に開催されました。

▲滋賀大会の本県出席者

開会式では、はじめに主催者挨拶として、大村消防庁国民保護・防災部長が挨拶をされ、続いて、日本消防協会の秋本敏文会長が「滋賀大会を契機に、女性消防団の活動がますます発展するとともに、全国的な交流や連帯の輪が一層活発化することを期待しております。」等と挨拶されました。そして、本大会の実行委員会会長である滋賀県消防協会植田会長が挨拶をされた後、来賓の紹介が行われました。

開会式に引き続き、防火防災啓発劇、活動事例発表、記念講演と移りました。記念講演は、元WBC世界バンダム級チャンピオンの山中慎介氏による「継続は力なり」と題して講演が行われました。その後も活動事例発表と防火防災啓発劇が発表されました。

閉会式では、次回開催地である青森県消防協会に対して、日本消防協会秋本会長より大会旗が引き継がれました。

当県からの参加者の皆様お疲れ様でございました。

消防団長異動

◎辞任

○消防団長（平成三十年十二月三日）
九戸村消防団長　川畑勝美

◎就任

○消防団長（平成三十年十二月四日）
九戸村消防団長　山本篤

平成三十年度 岩手県消友会「親睦紅葉観賞会」開催

岩手県消友会の恒例の親睦紅葉鑑賞会が、去る十一月五日（月）花巻温泉「ホテル千秋閣」で開催されました。

当日は、紅葉も少し残る中、来賓の大森岩手県消防協会長、小山田岩手県消友会長をはじめ、参加された三十名の会員の皆様は、久しぶりの再会の方もあり、和やかなひと時を過ごし盛会裏に開催することができました。

▲参加された消友会員の皆様

謹賀新年

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます

（公財）岩手県消防協会

会長　一関市消防団長　大森　忠雄
副会長　宮古市消防団長　山下　修治
業務執行理事　八幡平市消防団長　工藤　十九
〃　住田町消防団長　泉田　義昭
〃　奥州市消防団長　小原　勝喜
〃　野田村消防団長　弐又　文雄
消防団長　盛岡市消防団長　雫石　眞一
〃　宮古市消防団長　山下　修治
〃　大船渡市消防団長　新沼　哲
〃　花巻市消防団長　小原　勇孝
〃　北上市消防団長　菊池　一人
〃　久慈市消防団長　廣崎　康一
〃　遠野市消防団長　松田　克之
〃　一関市消防団長　大森　忠雄
〃　陸前高田市消防団長　河野　吉昭
〃　釜石市消防団長　山崎　長榮
〃　二戸市消防団長　新畑　鉄男
〃　八幡平市消防団長　工藤　十九
〃　奥州市消防団長　小原　勝喜
〃　滝沢市消防団長　柳村　明
〃　雫石町消防団長　上中屋敷俊彦
〃　葛巻町消防団長　橋本　秀雄
〃　岩手町消防団長　松村　昭一
〃　紫波町消防団長　阿部　秀夫
〃　矢巾町消防団長　藤原　由巳
〃　西和賀町消防団長　赤石　昭
〃　金ケ崎町消防団長　小原　廣記
〃　平泉町消防団長　佐々木吉夫
〃　住田町消防団長　泉田　義昭
〃　大槌町消防団長　越田　政美
消防団長　山田町消防団長　内舘　秋雄
〃　岩泉町消防団長　八重樫芳令
〃　田野畑村消防団長　上村　繁幸
〃　普代村消防団長　三船　隆久
〃　軽米町消防団長　山舘松五郎
〃　野田村消防団長　弐又　文雄
〃　九戸村消防団長　山本　篤
〃　洋野町消防団長　明戸　実
〃　一戸町消防団長　三﨑　松一
消防長　盛岡地区広域消防組合消防長　髙橋　邦夫
〃　宮古地区広域行政組合消防長　沢田　達雄
〃　一関市消防長　高橋　邦彦
〃　釜石大槌地区行政事務組合消防長　菊地　秀明
〃　奥州金ケ崎行政事務組合消防長　阿部　保之
〃　久慈広域連合消防長　久慈　剛史
〃　花巻市消防長　小田島　満
〃　北上地区消防組合消防長　佐藤　晃
〃　大船渡地区消防組合消防長　村上　芳春
〃　遠野市消防長　小時田光行
〃　陸前高田市消防長　平　立身
〃　二戸地区広域行政事務組合消防長　田中　長治

営業品目
シバウラ小型消防ポンプ、ニッキ消防自動車
ホース乾燥塔　NAホスポール
操法用ホース販売、各種消防用機材及被服
県知事許可（般−27）第6269号
有限会社 文林商会
代表取締役 吉田 良一
本　社／一関市滝沢字鶴ケ沢7−59
TEL　0191−21−1119（代）
盛岡営業所／盛岡市好摩字夏間木83−122
TEL　019−682−0800
三陸営業所／上閉伊郡大槌町上町2−12
TEL　0193−42−8090

営業品目
日本機械消防自動車　ジェットホース
各種消防用被服　消防団員袢纏
ホース洗浄機・乾燥機
トーハツ小型消防ポンプ　ジェットシューター
FV防火衣・ゴアテックス雨衣
屯所用ホース乾燥塔
操法最適
トーハツ小型ポンプ
VC72プロⅢ
大型アルミ２基真空ポンプ付
実感してください！操法大会最適ホース。
ジェットホース。コンペ
NEWアスリート3／NEWアンカー3
第1〜2線用　最適ホース　　第3線用　最適ホース
創業 昭和22年
互光商事株式會社
代表取締役　玉川康介
本　社／紫波郡矢巾町広宮沢11−501−14
☎ 019−639−0505（代）

ONODERA SIGN ORIGINAL SIGN DESIGNER
株式会社　オノデラサイン
営業品目
のぼり・ミニのぼり・旗・横断幕・懸垂幕
バナー・半纏・のれん・タスキ・ハンカチ
風呂敷・手拭い・ポール・販促用品・POP用品
ノベルティーグッズ
■本社
〒028-6103　岩手県二戸市石切所字荷渡7-11
TEL　0195-22-1333　FAX　0195-22-1334
■盛岡営業所
〒020-0125　岩手県盛岡市上堂1丁目6-6
TEL　019-613-6674　FAX　019-613-6675

株式会社古川ポンプ製作所
岩手県一関市山目字中野34-2
TEL0191-25-5221
単独型 ブザー＋音声タイプ
SS-2LQ/FJシリーズ
煙式　熱式
住宅用警報器の交換時期が近づいておりましたら、お気軽にご相談ください。
消火器の廃棄処分も承っております。※有料です。

消防・防災用品のプロフェッショナル
SHOEI
松栄商事株式会社
消防施設工事業　岩手県知事許可（般-29）第4461号
http://www.shoeishoji.com/
◎本　社／盛岡市天神町13-27　Tel.019-623-4364
◎八幡平営業所／八幡平市柏台三丁目4-37　Tel.0195-78-2136
◎奥州営業所／奥州市江刺八日町一丁目5-5-2　Tel.0197-47-3464
◎宮古営業所／宮古市上鼻二丁目3-15　Tel.0193-65-7080
防災・避難用品インターネットショップ→ しょうえいねっとショップ 検索

消防防災トータルサポート
株式会社
岩手総合商事
代表取締役 橋本 智和
〒029−0132
一関市滝沢字草刈場135−20
TEL:0191−48−4433
FAX:0191−48−4432